英語表現Ⅱ　シラバスおよび評価規準（２単位×２学年の分割履修）

対象教科・科目	単位数	学年・学級
英語表現Ⅱ	４単位（２単位×２）	２年，３年

１　学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通り。 ア　与えられた話題について，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ　主題を決め，様々な種類の文章を書く。 ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。また，発表されたものを聞いて，質問したり意見を述べたりする。 エ　多様な考え方ができる話題について，立場を決めて意見をまとめ，相手を説得するために意見を述べ合う。
使用教科書・副教材等	・Vision Quest　English Expression Ⅱ Ace（61 啓林館　英Ⅱ 322） ・ワークブック　　Vision Quest（参考書）

２　評価の観点，評価規準，評価方法

評価の観点
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度
② 表現の能力：話すこと（S），書くこと（W）
③ 理解の能力：聞くこと（L），読むこと（R）
④ 言語や文化についての知識・理解

評価対象
(a) 授業中の活動
(b) 発表
(c) 課題の提出
(d) 小テスト・定期考査

観点		箇所	評価規準	評価方法
① 関心 意欲 態度		・モデル文 ・Practice / GOAL! ・Activity for Communication	○ モデル文に関心を持ち，読もうとしている。 ○ 間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	(a) (c) A―B―C
② 表現の能力	S	・Activity for Communication ・Presentation ・Discussion / Debate	○ 与えられた状況において，適切に話し，伝えることができる。 ○ 適切な発声で，プレゼンテーションを行うことができる。 ○ 自らの意見を，適切な表現を用いて伝えることができる。	(a) (b) A―B―C
	W	・Practice ・GOAL! ・Part2	○ 学んだ文法・表現を使って，文を書くことができる。 ○ 自分や与えられた課題について，文章を書くことができる。 ○ パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 ○ 要約を書く手順を理解し，要約文を書くことができる。	(a) (b) (c) (d) A―B―C
②	L	・Activity for Communication ・Presentation / Discussion / Debate	○ 相手の言ったことを，正しく聞き取れる。 ○ 英文を聞き，正しい解答を選べる。 ○ 発表者や発言者の言ったことを，正しく聞き取れる。	(a) (b) (c) A―B―C
	R	・モデル文 ・Part2	○ つなぎの言葉の使い方を理解している。 ○ パラグラフの構成を理解している。 ○ 文章の要点をつかむことができる。	(a) (d) A―B―C
③ 知識 理解		・モデル文 / Build-up / Expressions / Practice / Grammar Focus	○ いろんなトピックについて，内容を理解することができる。 ○ それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し，知識として定着させている。	(a) (c) (d) A―B―C

３　学習指導計画および評価方法

● 第２学年

月	課	配当時間	学習内容	評価方法
4	Part 1　Lesson 1	2	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 2	2	主語になる名詞句／形式主語／無生物主語	①　A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
5	Lesson 3	2	自動詞と他動詞／間違えやすい自動詞と他動詞／群動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 4	2	SVO／SVOO	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
6	Lesson 5	2	SVC／SVOC	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 6	2	使役動詞／知覚動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
7	Lesson 7	2	直接話法と間接話法／間接話法で伝達	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 8	2	「～する」／「～している」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
9	Lesson 9	2	「～した」／「～していた」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 10	2	能動態と受動態／日本語との違い	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
10	Lesson 11	2	「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 12	2	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
11	Lesson 13	2	数量を表す語句／名詞を前から修飾する語句	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 14	2	名詞を後ろから修飾する①／②	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
12	Lesson 15	2	関係代名詞／関係副詞	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 16	2	副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
1	Lesson 17	2	副詞節①／②	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 18	2	原級／比較級	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
2	Lesson 19	2	最上級／最上級を意味する表現	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 20	2	no＋名詞，no-で始まる代名詞／部分否定／準否定	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
※ 進度に応じて，Grammar Focus①～⑤（配当：各２時間）や Activity for Communication①～⑤（配当：各２時間）を適宜入れる。				

※ 評価対象 … (a) 授業中の活動／(b) 発表／(c) 課題の提出／(d) 小テスト・定期考査
評価配分 … ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 20% ／ ② 表現の能力 40%
③理解の能力 30% ／ ④ 言語や文化についての知識・理解 10%

● 第３学年

月	課	配当時間	学習内容	評価方法
4	Part 2　Lesson 1	2	文と文をつなぐ	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
5	Lesson 2	2	パラグラフの構成／列挙・順序	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 3	2	例示・追加	① A―B―C　② A―B―C ② A―B―C　④ A―B―C
6	Lesson 4	2	比較・対照	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 5	2	原因・理由・結果	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
7	Lesson 6	2	リーディングの要約	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
	Lesson 7	2	リスニングの要約	① A―B―C　② A―B―C ④ A―B―C　④ A―B―C
9 10	Part 3　Lesson 1 (Presentation)	6	プレゼンテーション： ブレインストーミング／資料を探す／ アウトラインの作成 プレゼンテーションの原稿／表現 プレゼンテーションの準備／実施 プレゼンテーションの質疑応答／発表者の評価 Practice	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
11 12	Lesson 2 (Discussion)	4	ディスカッション： ディスカッションの進め方／例 ディスカッションに役立つ表現／評価 Practice	① A―B―C　② A―B―C ③ A―B―C　④ A―B―C
1 2	Lesson 3 (Debate)	6	ディベート： ディベートの進め方 ディベートの準備 ディベートを行う上での注意点／判定／表現 Practice	① A―B―C　② A―B―C ④ A―B―C　④ A―B―C
※ 進度に応じて，Grammar Focus①～⑤（配当：各２時間）やActivity for Communication①～⑤（配当：各２時間）を適宜入れる。				

※ 評価対象 … (a) 授業中の活動／(b) 発表／(c) 課題の提出／(d) 小テスト・定期考査
評価配分 … ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 20% ／ ② 表現の能力 40%
③ 理解の能力 30% ／ ④ 言語や文化についての知識・理解 10%